

# 鈴鹿サーキット レーシングスクール フォーミュラ 2021年度SRS-Formulaアドバンス修了式のご報告

拝啓 盛夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、鈴鹿サーキット レーシングスクール フォーミュラ(SRS-Formula)では、2021年度「SRS-Formulaアドバンス」の最終カリキュラムおよび修了式を7月20日(火)、21日(水)の日程で行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、入校が延期となっていた2020年度の入校生8名に2020年度のKartアドバンスから特別昇格した2名を加えたアドバンス受講生10名を対象に行ってきた「SRS-Formulaアドバンス」は、今回のカリキュラムをもって延べ10日間・合計42時間に及ぶ全日程を無事に終了することができました。これもひとえにご協賛・ご協力いただきました各社の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

今後もSRSは世界に通用するドライバーの育成を目標に活動を続けて参ります。引き続きご理解・ご協力賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

2021年7月吉日

鈴鹿サーキット SRS事務局

## ●2021年度SRS-Formulaアドバンス 最終カリキュラム・修了式 開催概要

- 日時： 2021年7月20日(火)、21日(水)
- 概要： 7月20日(火) フリー走行(20分間×4セット)  
計測走行(20分間×3セット)  
7月21日(水) フリー走行(25分間×2セット)  
計測走行(20分間×2セット)  
セット走行(10周)  
修了式(スカラシップ選考会進出者発表)
- 参加： Director…佐藤浩二氏  
Instructor…加藤寛規氏・野尻智紀氏  
Support Instructor…大湯都史樹氏  
Physical Coach…鎌田貴氏

アドバンス受講生 10名

## 入校が延期となっていた8名と特別昇格した2名、合計10名が挑んだ「SRS-Formulaアドバンス」最後のカリキュラム

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「SRS/コチラレーシング」としての国内FIA-F4選手権への参戦が一時休止となり、ステップアップ枠の確保が困難な状況となったため、スクール活動も一時休止となった2020年度の「SRS-Formulaアドバンス」。2019年末からはじまった基礎運転技能を確認する「SRS-FormulaアドバンストレーニングSTEP1」（コース使用 合計11時間）、フォーミュラカーを操作する基礎技術を修得する「同STEP2」（コース使用 合計23時間）を経て選抜した8名も入校が延期となっていました。

その8名に加え、2020年度のKartアドバンスでInstructorと同等の走りを披露するなど、良い成績をおさめてFormulaアドバンスに特別昇格した荒尾創大と野村勇斗（ともに15歳）が2021年度の「SRS-Formulaアドバンス」に入校。合計10名の受講生は各回2日間ずつのカリキュラムを計4回消化し、今回の第5回目が「SRS-Formulaアドバンス」の2021年度最後のカリキュラムとなりました。

初日の7月20日（火）は身体をウォームアップした後、いつものように全体ミーティングより1日がスタートしました。その後、メカニックによって整備されたスクール用フォーミュラカーに乗り込み、実技トレーニングへ。マシンの個体差に関係なく確実なドライビングができるよう、第4回目カリキュラムの最終日からランダムに入れ替えられたフォーミュラカーの状態を確認しながら20分間ずつのフリー走行を4セット実施しました。

データロガーをチェックした後、20分間による計測走行を3セットに渡って実施。受講生たちはそれぞれの距離を保った状態でコースインし、各々の課題改善に集中して走行トレーニングに取り組みました。

これらの走行時はスーパーフォーミュラやSuper GT（GT500クラス）に参戦中の大湯都史樹Support Instructorが同時走行しました。また、佐藤浩二Director、加藤寛規・野尻智紀の両Instructorにはコース脇やピットにて受講生の走りをチェックしていただきました。

走行トレーニング終了後は再びデータロガーをチェックし、最終カリキュラムの第1日目が無事終了しました。



最後まで集中力を切らさず走り抜く訓練として10周のセット走行を実施

## 各々の課題を改善することを目的とした計測走行。 そして最後まで集中力を切らさず取り組んだセット走行

迎えた最終日の7月21日(水)も走行前に全体ミーティングを実施。佐藤Directorによるこの日のスケジュール確認の後、各Instructorから激励の言葉が掛けられました。

そしていよいよ最後の実技トレーニングへ。まずは7月20日(火)のカリキュラムで使った車両からランダムに入れ替えられたスクール用フォーミュラカーの状態を確認しながら25分間によるフリー走行を2セット実施。その後、タイヤを新品に交換し、20分間の計測走行を2セットに渡って行いました。

計測走行1セット目ではアタック開始1周目から山本聖渚が2分09秒762を記録。野村勇斗がそれを上回る2分09秒498をマークすると、2分09秒734の三井優介がそれに続きます。野村は次のラップでは2分09秒220をマークして自己ベストを更新。西村和真も2分09秒373をマークしてタイミングボードの上位に。野村が2分08秒869をマークして唯一の2分08秒台となりましたが、6周目に大湯Support Instructorがそれを上回る2分08秒408をマークしてタイミングボードのトップに。終盤に西村が2分08秒719へとタイムを更新し、大湯Support Instructor、西村、野村、三井、佐藤巧望のタイム順となりました。

また、計測走行2セット目では大湯Support Instructorのみが2分08秒台に突入。1セット目と同じく、大湯Support Instructor、西村、野村、三井、佐藤というタイム順となりました。

2セットに渡る計測走行の順位の合算(同点の場合はベストタイムが速い方が前)により、グリッドを決定。10周によるセット走行を実施しました。このセット走行では大湯Support Instructorがホールショットを奪うと、早くも後続を引き離しにかかります。大湯Support Instructor、三井、西村、佐藤、野村、三島優輝のオーダーでオープニングラップを終了。大湯Support Instructorから若干離れて三井と西村がテールtoノーズのバトルを展開します。また、佐藤、野村、三島もテールtoノーズの状態でも4位の座を争います。大湯Support Instructorが単独走行のままトップチェッカー。三井と西村がファイナルラップでバトルを披露しましたが、三井、西村のオーダーでチェッカーを受けました。

2セットに渡る計測走行では、大湯Support Instructorと10名の受講生を含む全員がタイヤ交換直後の計測走行1セット目でベストタイムをマークしました。このことはタイヤのポテンシャルを引き出して走行する術を身に付けた証と言えます。また、セット走行ではパッシングシーンが見られるなど、積極的な走りが印象的でした。こうして2021年度の「SRS-Formulaアドバンス」最後のカリキュラムが無事終了しました。



最後のカリキュラムを前に全体ミーティングにもいつも以上の緊張感が漂う



## 高度な実戦テクニックを磨くSRS-Formulaの最終段階 「SRS-Formulaスカラシップ選考会」進出者を決定

2セットに渡る計測走行とセット走行を終えたその午後には「SRS-Formulaスカラシップ選考会」への進出者発表を含む「SRS-Formulaアドバンス」の修了式を行いました。

主催者を代表して株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット モータースポーツ部 テクニカルセンター所長の荒川基之より挨拶。その後、佐藤浩二Directorより受講生一人ひとりに修了証書が手渡されました。そして、10名の「SRS-Formulaアドバンス」修了生の中から優秀な成績を修めた山本聖渚、三井優介、三島優輝、西村和真、荒尾創大、野村勇斗の6名を「SRS-Formulaスカラシップ選考会」へと進出させることを発表しました。

これをもちまして、2021年度の「SRS-Formulaアドバンス」までが無事終了しました。この後は選出された6名による「SRS-Formulaスカラシップ選考会」のカリキュラム(コース使用 合計24時間)を9月から行い、さらに高度な実戦テクニックを磨くための様々なプログラムを消化した6名の中から数名を厳選し、2021年度スカラシップ(奨学制度)対象者を11月25日に決定。若手ドライバーの発掘・育成を目的とした「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト(HFDP)」の育成ドライバーとして2022年シーズンのフォーミュラカテゴリーに参戦する権利を与えることとなります。

現在、世界で活躍するSRS出身のドライバーは数多くいます。SRS-Kart・FormulaアドバンスのPrincipalを務める佐藤琢磨氏(1997年度卒)。角田裕毅選手(2016年度卒)はその

佐藤氏以来13年ぶりの日本人F1レギュラードライバーとして2021年FIAフォーミュラ・ワン世界選手権(F1)に参戦しています。また、2020年フランスF4選手権チャンピオンから、2021年FIA-F3選手権等に参戦している岩佐歩夢選手もSRS出身です。国内ではSUPER GTやSUPER FORMULAなど、枚挙に暇がないほどの修了生たちが活躍し、あるいは実績を残してきています。

彼らのように今回の受講生たちが成長していくことが期待されます。これからも受講生たちの活動に注目いただけるよう、よろしくお願い申し上げます。

### ●佐藤浩二Directorのコメント●

『例年に比べ、今年を受講生は実力が拮抗していました。タイムがコンマ2、3秒の間にひしめき合っている状態で、選考にあたり、私たちInstructorも非常に悩みました。今回はタイムはもちろんですが、それ以上に受講生の可能性・将来性を鑑みて採点し、6名に決定しました。初日のタイムを見ているとどの受講生も大湯Support Instructorとの間に大きなギャップがありましたが、今日は大湯Support Instructorに近いタイムで走行できていました。選ばれたスカラシップ候補生は大湯Support Instructorを上回るタイムを記録できるよう、さらに努力して欲しいと思います』



佐藤浩二Directorより10名の受講生に修了証書が手渡された

## ●「SRS-Formulaスカラシップ選考会」候補者コメント●

### ◇山本聖渚(やまもとせな)

18歳/山口県

『今日の走行は満足できませんでした。課題がまだまだ多くあります。スカラシップ選考会でそこを改善できるよう努力し、Instructorの方々のタイムを逆転できるようにしていきたいと思っています』

### ◇三井優介(みついうすけ)

18歳/埼玉県

『初日の時点では自分が思っていた走行が全くできず、タイムも出ませんでした。今日ようやく自分の強みであるコントロール性を思い出すことができ、セット走行中のタイムでも受講生の中でトップをマークできました。このままスカラシップ選考会も頑張り、スカラシップを獲得したいと思います』

### ◇三島優輝(みしまゆうき)

20歳/三重県

『自分の本来の走りをできることもあったのですが、常にそれをキープすることができませんでした。特に今日は下位に沈んでしまい、Instructorの方のタイムとギャップがありました。ミスが多いのでまずは確実性を増すなど、自分の課題を改めて確認し、スカラシップ選考会に取り組んでいきます』

### ◇西村和真(にしむらかずま)

21歳/大阪府

『Instructorの方々のアドバイスを真摯に受け止め、走行に活かすことができ、マシンの走らせ方を理解できるようになりました。自分なりにいろいろなことをトライしてきた結果が今回の結果につながったと思います。ライバルと切磋琢磨して頑張り、必ずスカラシップを獲得します』

### ◇荒尾創大(あらおそうた)

15歳/東京都

『午前中は自分なりの走りができていたと思うのですが、最後にスピンしてリズムが狂い、ニュータイヤに交換してからスピードが足りないということになってしまいました。それでもスカラシップ選考会に進めたのは良かったと思います。今後の3回のカリキュラムの中で課題を見直し、改善し、速さを見せつけられるように頑張りしたいと思います』

### ◇野村勇斗(のむらゆうと)

15歳/愛知県

『第4回目のカリキュラムまでは思ったような結果を残せませんでした。今回の第5回目でもようやく改善でき、計測走行でも上位のタイムを出すことができました。ライバルに負けないように努力を続けます。そして首席で卒業し、スカラシップを獲得したいと思います』



2021年度「SRS-Formulaスカラシップ選考会」へと進出する6名  
写真左から、山本聖渚、三井優介、三島優輝、佐藤浩二Director、西村和真、荒尾創大、野村勇斗





カリキュラム最終日の朝、スクール用オリジナルフォーミュラマシンとの集合写真撮影を実施



最後のカリキュラムでも積極的にInstructorにアドバイスを乞う受講生

**BRIDGESTONE**





緊張感をもってInstructorのアドバイスに耳を傾ける



トップドライバーから直接アドバイスを受けられるのがSRSの最大の特徴

**BRIDGESTONE**

